本別町長選の動き

（第一面からつづく）

明年の本別町長選に門脇助役氏が立起するものではないかとの観測は、一昨年十月の臨時町議会での助役、収入役選任のゴタゴタから生じたものとみられています。

当時、任期半ばをまたずに辞任した渡辺前助役の後任には、庁内起用の線からすれば門脇総務課長の昇格が順当として、その年の春ごろから水元町長から直接に門脇氏に話しがあり、その心がまえで総務組合などを根まわししておくようにといわれたそうです。

それは門脇氏にばかりではなく、側近の高木元、表島芳治議員にも、そうでない側の野崎武、天野時清議員にも門脇助役への協力を求めていたものでした。

ところが十月十一日の議会招集となると、意外にも助役には施設課長の藤田高志氏に変り、門脇氏は収入役という提案であることがわかって問題となって議会は開会できずに、全議員が控室にあつまって町長の真意をきいたもの、なっとくしないもの、なっとくしたもの、なっとくしないものマチマチで無記名投票で決着をつけることになり、世間の午前十時から四十五分もおくれて開会となりました。

その結果は助役は十三票対八票で選任されたものの収入役は九票対十二票で否決となりました。

町長提出の人事案件がこのように処理されたのは管内ではじめての事態で、春いらい町内的に公然と門脇助役を既定の事実として話しておいて、ドタン場になって藤田氏にふり替え、門脇氏には収入役をと変心したやり方は、いかに人事提案権は町長にあるとしても、そのためにはじめに現職にあった木村栄収入役を前月の二十一日の任期切れで一期で自動的解任という措置をともなってのやり方は、あまりにもムリ、あまりに不人情な人事ではないかとみられていました。

議会が多数決で門脇収入役を否決したのは、もともと本人が収入役を希望していないし、収入役よりも助役が適任であるし、水元人事に対する不満から一矢を報いた形で、町長不信任の意志表示でもあったようだし、本人もこれでクサる男ではないし、むしろこれに将来を期する男としての期待をこめての否決でもあったようです。

その〃将来〃は明年の町長選であることは当然で、水元町政三期とその重役の流れを変えなければという空気に乗ることになりそうです。

たとえば、昨年十一月二十二日の臨時町議会に野崎武氏から本別製材工場問題について町長を相手の訴訟に関して応訴することを提案しましたが、これは町民がおこしたのでなく野崎氏がおこしたのですからイヤでも応訴せざるを得ない性質の案件であるのに、採決にもち込まれて十二対六で六議員の反対があったということで、どちらに言い分があったにしても町行政上の問題で町長と町民が法廷で争うべきではない、あくまでも双方の話し合いで解決すべきだ、というのに、このあと水元氏個人が野崎氏に別に訴訟をおこし〃泥仕合〃には現、前両〃の争いに深入りしたわけで、こうしたドロ沼状態に〃マイ込〃んだ形の町政を刷新しなければならないとの声はあがっており、その場合の対抗馬としては、結局「町を育てる会」を結成して井出利一郎氏を候補に打ち樹てながら会頭就任におわった篠原から、明年は役場庁内最古参で水元町政の参所、役所にくわしく、実務に練れた門脇氏の登場に期待する向きもあるようです。

かりに反水元統が門脇氏擁立で一本化すれば、水元氏の側は前回問題で四選須返の場合は水元派として藤田氏を立てての一騎討ちの公算が強いとみられていますが、九月に地区労の定期大会で町長選対策をとりあげることにしており、他の団体の動きも加わり決定版はこれからといえそうです。

スポーツセンターを整備

陸別町議会

陸別町議会の第二回臨時会は、二十二日午前十時から竹内議長をはじめ全議員が出席してひらき

一、道路の冬期交通の確保、整備のため除雪ドーザーを一千二百五十七万円で草林商会帯広支店から購入

二、49年度団体営草地開発事業の牧道工事を三千百三十万円で池地組と請負契約の締結

三、新町児童館建設工事を六千四百三十二万円で小島建設と請負契約の締結

四、一般会計予算の補正としてスポーツセンターの増築、床改修、暖房、電気外構整備工事などに四千六百二十六万三千円を追加

などをそれぞれ原案どおりに議決して、正午前に閉会しました。

エホバの証人大会

エホバの証人の地域大会が八月四日から七日まで小樽市総合体育館で全道から五千人が参加してひらかれますが、本別、足寄、陸別の三町から十三人が出席します。

困った倒産ぶり

陸別町のA木村工場の倒産は、かつての最盛期のように道銀支店を総退させるほどの大きな影響はないとしても、町内の債権者や商工会幹部のあいだではこの倒産にはあまり同情的ではないようで、会社更生法の適用には疑問をもっていて、たかには破産宣告をうけて公民権停止の目にあうべきだとの声も出ています。

というのは、倒産とはいいながら社長や家族は従来どおりに外車を乗りまわしての優雅な生活ぶりで、事前に財産かくしの工作の疑いをもたれているようです。

暑中お見舞申しあげます

足寄郵便局
局長　石森勇
代理　長嶺和
主事　江島余次
同　野澤仁司
主任　樋口昭之
同　山本鉄静
同　安井勝良
—ほか職員一同—

苫務郵便局
局長　集鳥吉男
主事　上田秋吉
—ほか職員一同—

足寄本通り簡易郵便局
局長　加藤芳弘

本別郵便局
局長　沢田忠夫
代理　一森政次郎
主事　黒田孝
主任　松坂豊
同　根本幸治
同　下野直夫
—ほか職員一同—

芽登郵便局
局長　安田光信
主事　有田正信
同　野々村幸一
主任　永田静夫
同　保多幸永
—ほか職員一同—

仙美里郵便局
局長　横山利光
主事　黒山茂則
同　中野龍晴
主任　鈴木静子
同　吉川三吉
—ほか職員一同—

大誉地郵便局
局長　佐瀬信男
主事　毛利静信
主任　石利直三
—ほか職員一同—

本別電報電話局
局長　萩原茂
業務課長　石沢庄平
同副課長　新坂トサ
線路宅内課長　若子昇
機械課長　米沢米造
庶務課長　大森哲郎
—ほか職員一同—

上利別郵便局
局長　久弥田厚二
主事　千野吉教
主任　清水重利
同　今井庄五郎
—ほか職員一同—

足寄電報電話局
局長　川上久男
業務係長　奥塚
—ほか職員一同—

陸別郵便局
局長　松谷信広
代理　大坪久雄
主事　鈴木勝司
—ほか職員一同—

足寄営林署
署長　村上時雄
管理官　筒田芳宗

九州大学農学部
北海道地方演習林長　柿原道喜

足寄町土地開発公社
理事長　小林弘道

足寄町商工会
会長　新沼芳雄
副会長　日景健治
同　高橋佳夫
事務局長　角屋紀一
経営指導員　斉藤守
同　小掠譲二

陸別町商工会
会長　金沢賢蔵
副会長　山本憲一
同　国部信夫
専務理事　久保省三
事務局長　小野彰
経営指導員　妹尾茂

足寄町社会福祉協議会
本年もみなさまの愛情を惜まれない方々へ！
会長　三宅隆義
副会長　神本三家雄
同　大塚正夫
足寄町民生委員協議会　総務　三宅隆義
足寄町老人クラブ連合会　会長　藤村与作
足寄町母子会　会長　桂さよ子
身障会足寄町分会　会長　阿部俊夫
足寄町遺族会　会長　春日井勇
共同募金会足寄分会　会長　長田栄
手をつなぐ親の会　会長　山内栄
事務局長　松平京　福祉活動専門員　浅川清

足寄町農業団体連絡協議会
農業協同組合　組合長　斉藤祐一
開拓農業協同組合　組合長　遠山謙
農業共済組合　組合長　坂口隆邦
農民同盟　委員長　島正吉
農連協事務局長　本谷直蔵

陸別町社会福祉協議会
会長　山本憲一
副会長　渡辺孝吉
同　山内律雄
常務理事　徳光永夫
事務局長　吉川寛

陸別町民生委員協議会
総務　山内律雄
副総務　鈴木正三郎

赤外線焼付塗装ブース導入！
エナメル焼付塗装　オールUSA塗料使用
札幌陸運局認証　整備　板金　塗装
ムトウ自動車工業
足寄町　T五一　二五七八　三七一九

夏物衣料を各産地から
沢山仕入れてきました
ただいま陳列を完了しまして
皆様の御用命をお待ちしております
是非御来店下さい
株式会社　**前田呉服店**
足寄町駅前商店街　T五―二〇三三

満三才から大学受験まで　エレクトーン科
ピアノ科　保母養成科　受験科
国語、算数、理科の小学三年以上の学習塾
川岸音学院　川岸新一
学研スタディ学院
院長　川岸新一　講師　光藤喜泉
会場　足寄町中央四区丸山ゲンキ方　T⑤二一一三
申込先　足寄町西五区　T⑤二八〇九

住宅産業に奉仕する店
新築改築のときはご相談下さい
家具　建材　サッシ　住宅設備機械
アコーデオンカーテン　サッシ網戸
各種ご注文承ります
有限会社　**桜井家具建具店**
足寄町本通り南三丁目　T五―二三六二
注文建具　注文サッシ　**製作部**
足寄町西五区　T五―三三一五

防振鋸軽量　造林用ミニチェンソー各種
同　森林用、鎌農用刈払機各種
造林用具（全道一）岩瀬町鍛冶刃物代理店
（島田鍬、植付鍬一式）
造林用高級刈払鋸　北の神鍛代理店
造林用刈払鋸　山形米沢アオガリー製代理店
同　札幌市平田鋼具製代理店
マキタ　日立　東和　電動工具総本舗刃物代理店
（機械の修理は誠実本位の当社へ）
林業機械　造林用具　電動工具
有限会社　**鈴木鋸刃物店**
本社　足寄町大通り　T五―二三〇七
営業所　本別町南二丁目T二一―四九二三